

## 平成27年第2回広陵町議会定例会会議録

平成27年6月11日

○議長（青木義勝君）

続きまして、13番、山田さんの発言を許します。

13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 議場の皆さん、こんにちは。13番、山田美津代です。一般質問最後です。あと60分皆さんお疲れだと思いますが、辛坊して聞いてくださいね。

まず1番目、クリーンセンター南側の広陵町子どもスポーツ広場（芝生広場）の設備を充実させて、子供たちがサッカーなど練習するのに最適な環境にすべきでは。

クリーンセンター南側の芝生広場に照明設備がなく、木曜日ごとにサッカーのクラブに所属している子供たちが放課後練習の際、冬の早く日が落ちる期間、不便な環境で練習をしています。クリーンセンターとの間には駐車場があり、距離があるので電源が引っ張れないのでバッテリーで動かして必要なときだけ設置する照明器具を中央公民館と子供たちの指導者の間で話をされていますが、1台だけでは足りなく、2台から4台欲しいとの要望があります。緑のフェンスで囲まれた長方形のグラウンドの四隅に1台ずつあれば、冬場の練習にも力が入るし、部員をふやすため見学に来ていただいても暗くて嫌だという声があり、ふえないということも解消されます。40万円から50万円で4台照明が設置できるそうです。広陵町の子供たちのためにこの照明設備を備えてください。

それと高学年が6時から7時まで練習したいとの要望もお聞きしています。今現在は朝8時から夕方5時までという使用時間も変えることを検討する必要もあるのではないのでしょうか。

**質問事項2、広陵西小学校の雨漏り対策を速やかに。**

激しく雨が降ると廊下などが雨のため水が湧いてくる状態になり、補修が緊急に必要です。これからの梅雨の季節、豪雨も予想される中、対策を打たないと授業にも差し支えるのではないのでしょうか。

**3番目、広陵町小中学校全教室にエアコン設置を。**

ことしは5月なのに暑い日が続き、もう熱中症の被害が早くも出ています。このままいくと授業中の暑さは想像もできません。この暑さの中で授業に集中せよというのは子供たちに酷ではないのでしょうか。何人の議員からも出ているこの要望は、多くの町民からの強い願いと受けとめて、早期に実現に向けて動き出してください。

**4番目、就学園援助制度の改善を。**

ホームページに就学援助制度をアップしていただきました。でも内容は例年どおりで、改善されていません。この内容では、保護者は該当世帯かどうかわからなく、申し込んでだめだったら嫌だしと、申し込みそのものをためらわれている方も多いのです。そして申し込まれても支給開始は7月です。新入学の折には多額の入学するための準備金がかかります。福岡市などでは、3月に入学準備金を支給されています。ほかでできて広陵町でできないことはないでしょう。このことも検討すべきです。

**質問事項5、軽度生活支援事業を充実させて介護保険から外される要支援1・2の方のフォローを。**

何回も一般質問で取り上げているこの制度、独自のパンフもない、窓口においてすらない現状は一つも改善されていません。1枚もののパンフにして町民に周知していただき介護保険から外れる高齢者に使いやすい制度に充実させていくことは福祉のまち広陵町によりふさわしい施策になると思います。いかがでしょうか。

教育に関すること4点、福祉に関すること1点、どうかよろしく願いいたします。

○議長（青木義勝君） ただいまの質問に対しまして、答弁をお願いします。

山村町長！

○町長（山村吉由君） 山田議員さんの御質問にお答えをいたします。

私からは5番目だけ、残りは教育長がお答え申し上げます。

軽度生活支援事業を充実させて介護保険から外される要支援1・2の方のフォローをという御質問でございます。

現在実施している軽度生活援助事業につきましては、御承知のとおり、軽度な日常生活上の援助を必要とするひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯に対し、軽度の生活援助を行うことにより、要介護状態の進行を防止すること、また介護保険法による要介護者等につきましては、法の対象とならない援助を提供することにより、心理的な孤独感や不安を和らげ、より自立した生活が営めることを目的としたものであります。

この軽度生活援助事業は、現在一般会計の老人福祉費で予算化しているところですが、平成29年4月から実施の「介護予防・日常生活支援総合事業」へ移行してまいりたいと考えております。このことによりひとり暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯等に継続的で安定したサービス給付が可能となり、地域での暮らしに寄与できるものと考えております。

なお、御指摘のパンフレットにつきましては、早期に作成する予定であります。

また、相談に来られる御家族等への窓口対応を向上させ、福祉のまち広陵町と住民の皆様を感じていただけるよう職員教育にも力を入れてまいりたいと考えております。

今後も高齢者の社会参加と地域における支え合いと住民主体による支援の双方を実現できる事業として発展させてまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（青木義勝君） 松井教育長！

○教育長（松井宏之君） 山田議員さんからは教育委員会関係４項目にわたりまして、御質問をいただいております。

まず初めに、広陵町子どもスポーツ広場の設備を充実させて子供たちがサッカーなど練習するのに最適な環境にすべきではの御質問に対して、御答弁申し上げます。

御質問いただいております子どもスポーツ広場のグラウンドの４隅の照明につきましては、照明器具をどのように設置し、維持管理するかという技術的な問題に加え、複数の設置に係る費用が高額になるといった理由によりまして、照明の設置は現時点において難しい状況にあります。また、子どもスポーツ広場の利用状況、新たな照明器具設置による費用対効果等に関して、十分検討することが今後の課題であると考えております。

既存設備の有効活用の観点からサッカーの練習に関しましては、現状で確保できているものと認識しておりますが、日没が早くなる冬場の時期につきましては、児童の安全面を考慮し、子供たちが器具の片づけ等をしやすいように、バッテリー式の照明器具を１台整備することを計画しております。また、使用時間につきましては、「広陵町子どもスポーツ広場管理運営規則」にも規定されており、午前の部は、午前８時から正午まで、午後の部は、午後１時から午後５時（４月から１０月までは午後６時）までさせていただきます。子供たちの帰路における安全を確保する観点、また芝生の維持管理の観点からも現行規則により引き続き運営してまいりたいと考えております。

今後におきましても、誰もが気軽にスポーツを親しめる施設として子どもスポーツ広場のさらなる利用の促進を図ってまいります。

続きまして、質問事項２番、広陵西小学校の雨漏り対策を速やかにという御質問に対しまして、答弁としまして、御指摘の雨漏りにつきましては、昨年度、廊下のシートが膨らみ、歩行に支障を来し、子供たちの安全確保のため、廊下のシートを張りかえたところです。ところが廊下面に水が浮いていることがまれにあります。雨が降ったからといって必ず現象が出るものでもなく、以前から把握はしておりましたが、お話を聞かせていただいてから現象は確認できておりません。現象が出るときは、学校担当職員が現地に赴き、学校関係者、工事施工業者とともに確認をし、その原因を究明しようとしているところです。原因が判明しましたら、安全確保の対策を講じてまいりたいと考えております。

続きまして、質問事項３、広陵町小中学校全教室にエアコン設置をに対して、御答弁としまして、さきの坂野議員にも答弁させていただきましたが、議員が御指摘のとおり、児童・生徒への教育環境向上の観点から必要な事業と考えております。町の財政計画に基づいて、その導入時期については、一日も早い実現に向けて進めてまいります。

なお、整備の順序につきましては、十分検討した上で進めてまいりたいと考えておりま

す。来年度、基本設計の予算を計上させていただきたく、進めてまいりたいと存じます。

続きまして、質問事項4、就学援助制度の改善をの質問に対しまして、答弁としまして、経済的な理由によって、就学が困難な児童・生徒に対し、通学用品費、修学旅行費等を援助する就学援助制度につきまして、例年は4月の家庭訪問の前に全保護者宛てにお知らせを配布し、申請を受け付けておりました。今年度につきましては、例年に加え、さらにホームページにも掲載し、幅広く住民周知に努めさせていただきました。

就学援助制度は、世帯の収入状況により判定させていただいておりますが、世帯といっても多岐にわたっており、保護者が該当世帯がどうか自己判断されず、多くの方に申請いただくことを望んでおります。

確かに申請されても該当にならない方もおられますが、教育委員会への問い合わせにおきましても、世帯の状況によって収入の上限が変わる旨を説明し、ボーダーラインの方には申請を提出いただくように勧奨しております。

支給開始時期は、第1回目が7月です。現在、世帯の収入状況の把握は、該当年度の課税の基礎となった前年中の総所得金額となっていることから、課税状況の確定を待っての作業となっております。

近隣市町村につきましても同様に7月に支給しているのが現状です。福岡市における入学準備金の前倒し支給につきましても、ことし3月から導入された制度と認識しています。入学準備金の前倒し支給については、判定所得年度の変更等が生じますので、今後調査研究してまいりたいと考えております。

また、ホームページの充実もあわせて検討し、よりよい制度普及に努めてまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（青木義勝君） それでは、質問事項ごとに再質問を受けます。

13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 御答弁ありがとうございます。

1番目の広陵町子どもスポーツ広場に照明をとということの再質問ですが、この要望があることを中央公民館から聞いたのはいつごろですか。御答弁でバッテリー式の照明器具を1台整備することを計画しておりますと御答弁をいただいているんですが、これ1台幾らで、いつ整備することを計画しておられるのでしょうか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） まず、この内容について、いつ知ったかということでございますけれども、この件につきましては、今回、山田議員のほうから質問を受けまして、私どもで確認して、私のほうでは、その時点で確認をとらせていただいた状況で

ございます。それと機械の金額でございますけれども、今、担当から聞いている話では1台十数万円で、今考えている機械は用意できるというふうに考えております。その導入の時期でございますけれども、本日御答弁させていただいて、これはなるべく早い時期に、この1台については整備をさせていただくつもりはしております。あと、それ以外に四隅というか、4カ所ですね、御希望されているのは。その点につきましては、先ほどの答弁にもありましたように、子供たちの安全を最優先に考えたいと思いますので、今のところ、最後の片づけの対応に使ってもらうための照明器具として御用意させていただきたいと思っております。

それと、移動式でございますので、そこに置いておくわけにもいきませんので、あえて手間ですけれども、その都度補完するという形をとりたいと考えております。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） この照明をつけてと要望したのは昨年4月なんですよ。要望して半年たって冬が来て、照明がどうなったか聞きましたら、今指導者と移動式の照明を考えているとの話でした。ですから、その冬はどうとう暗いままだったわけですね。ことしに入り、この秋までにはバッテリー式で使わないときは、公民館に置いておける、今御答弁いただいたものと考えているとのことでしたが、この次の秋までにつけていただかないと、また暗いままでの練習ということが続くわけです。こんなすぐつけられるんじゃないかなと思うんです。その間、子供たちの状況を言いますと、5時まで練習してから帰るんですけども、日が早く落ちる冬場は真っ暗な中、この簡易トイレも暗い中、トイレに入らなきゃいけないし、荷物をまとめて帰るのにも忘れ物をするというのも多いわけです、暗い中、荷物をまとめて帰るから。わからないわけです、自分の荷物が、椅子の例えば下とかにあっても。そんな状態でずっと練習を続けているわけなんですけれども、なかなか部員がふえない、この原因の一つも、見に行ったときに暗い中での練習だと、いや、こんな中で練習しているんやったらもうやめとくわということで、ふえないということも指導者の方はなげいておられました。この芝生のグラウンドをつくったんや、無料やし、5時までの規約やから我慢しろということでは余りにも子供たちのスポーツに対して貧弱な考え方だと思うんです。これ第4次広陵町総合計画「みんなの広陵元気プラン」に、スポーツの振興のところに、本町では体育協会を中心とする数多くのスポーツ団体やスポーツ少年団が中央体育館や県民運動場を初めとするスポーツ施設を利用し、活発なスポーツ活動を展開しています。町では、これらのスポーツ団体の育成やスポーツ施設の整備充実を初め、スポーツの振興に関する多様な取り組みを推進しています。しかし近年町民の健康体力づくりに対する関心が高まる一方で、日常生活の中で体を動かす機会が減少するなどスポーツを取り巻く環境は大きく変化してきており、全ての町民がそれぞれの年齢や体力、目的に応じて主体的スポーツ活動を行い、日々の暮らしの中に定着させることがで

きる環境づくりが一層求められていますと、ここ書かれているわけです。その後、このため今後はスポーツ施設の整備充実及び有効活用を図りながら、各種スポーツ団体、クラブの育成や指導者の育成、各年齢層に応じた多様なスポーツ活動の普及などスポーツ活動の場と機会の充実を進めていく必要がありますというふうに、これ第4次広陵町総合計画「みんなの広陵元気プラン」に書かれているわけなんです。このスポーツ施設の適正管理、有効活用という点で早急なこの1台だけでは、その忘れ物はしたくなるかもしれませんが、指導者の方は、暗い中での練習、これ4隅にあれば、明るい中での練習ができるわけです。そして周りが草ぼうぼうだったんです、私見に行ったときに、ですからすぐに草を刈ってくださいということも申し入れといたんですが、また練習に通う子供たち、保護者が車で送り迎えている子供はいいんですけども、自転車で来る子供は途中のクリーンセンターに入って、町道からクリーンセンターに入ってきて、このスポーツ広場へ行くまでの間も真っ暗な中、行き帰りをしなければならない、その辺の整備もやはり要るのではないかなというふうに思うんですが、どうでしょうか。

○議長（青木義勝君） 松井教育長！

○教育長（松井宏之君） 今おっしゃっている遅くまで使っている、そのクラブの、多分サッカーのクラブという形かと思えます。普通スポーツ少年は、体協のスポーツ少年でしたら昼間使っていると。今現在、その子どものスポーツ広場を使っているのは、そのクラブチームが子供を募集して使っているということで、主体がどうしてもそのクラブチームという中で、その町のほうがそのクラブチームの要望に応じて、いろいろな設備をそろえていくということになりましたら、もうほかにも設備をかなり持っております、いろんな面で。その時間の延長とか、その設備を整備するという要望が出たときにどうするかという問題も今後発生してくるということで、あくまでもうちのこの条例、規則の中では、冬場でしたら5時までですよ。当然その5時には暗くなるから、そこまでの安全対策を含めて、5時までにしてしようという形にしていますので、ある程度はやっぱりそのスポーツクラブも、多分自転車で帰る子供もいてるし、遠くから来ている子供もいてるということで、やっぱり子供の安全対策もちょっと考えていただくと。その中で今おっしゃっているその忘れ物とか、そういう部分があるということでしたら、今ここでお答えさせてもらった形で簡易的なそういう明かり、そういうものをその施設として置くという形で備えていくということで、この辺のほかの使っているクラブもありますけれども、その辺のちょっとどこまで施設を改善していくのかというのはちょっと今後の検討というか、こちらで相談させていただきたいというので御理解いただきたいと思えます。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 教育長、平成25年度の使用状況、これを見ますと、県民ナイターという項目があって、それは12月と2月と3月に斜線を引いていますのでお休みなんでしょうけれども、この県民ナイターの利用者数は21件、445人、県民運動場は154件、6,136人、見立山は380件で9,909人、時計台公園が96件で3,408人、そしてこの子どもスポーツ広場は89件、3,361人、年間で利用されています。年間これだけ利用があるんです。さらなる設備の充実を考えられませんか。王寺町の久度に第二雨水貯留池グラウンドというのがあるんです。そこのグラウンドは9,000平米、今の子どもスポーツ広場の3倍の広さなんですけれども、LEDの照明16台をことし3月に竣工してたくさんの子供たちがサッカー練習を放課後明るい照明のもとで楽しんでいます。LEDの照明2,500万円のところ、totoスポーツ振興補助金3分の2が適応されて、1,600万円補助が出たそうです。このtotoスポーツ振興補助金の説明と、この広陵町子どもスポーツ広場の照明に使えるか、お答えいただけますか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） ただいまおっしゃっていただきましたtotoの補助金でございますけれども、助成の申請をするに当たりましては、もちろん条件があるわけございまして、その条件といたしましては、経費としまして1,000万円以上のものというのがまず一つでございます。

それとあとは面積、照明をしようとする面積が1,000平米以上と、これはクリアしております。それとあとは、照明の面積に対して、照度でございますけれども、100ルクス以上とこういう形のを整備しなければならないということで、このことは条件としてはそれがありますけれども、この今おっしゃっている先ほどの簡易式ではなくて、この広場全体を照明するためのこの基準を満たす整備をするに当たりまして、概算でちょっと見積もりはとらせていただいているんですけれども、その金額が約500万円と今聞いております。それで条件としましては、1,000万円以上の整備というのがこのtotoの補助対象でございますので、そういう意味ではこの補助の対象には当たらないのかなというふうに思っているところです。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） それはLEDで計算されているんでしょうか。

○議長（青木義勝君） 答弁。

奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 照明の方法はLEDの照明器具を使っの照明で  
ございます。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） わかりました。補助が出ないんでしたらもう町で負担してい  
ただかないとしようがないかなと思いますが、このスポーツ広場を明るく使いやすくして、  
もっと有効的使用できるような整備を改善を将来ね、今はもう十数万円のそれでいいです  
けれども、将来的にやはり規約も変更していただいて、この照明がつけば時間も延長して  
改善することもお考えいただきたいと思うんですが、そうすれば夜の練習とか、ほかのス  
ポーツを楽しみたい方も利用されて、町の健康推進に役立つのではないかなというふう  
に思いますので、また将来検討していただきたいなというふうに思っております。

では、2番目に移ります。

西小学校の雨漏り問題ですが、業者が雨が降っているときでない原因がわからないと  
言われているそうですが、先ほど御答弁の中にありました、この廊下の張り直しですね、  
それがどんな状態で、どんな工事をいつされたのでしょうか、一体幾らぐらいかかったん  
でしょうか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） お尋ねの廊下の張りかえ工事につきましては、平  
成26年の夏休みに実施させていただいております。8月5日から8月29日というこ  
とでございます。面積のほうは245平米余り、場所につきましては、西小学校の南館の北  
側でございます東西の廊下、それと南館と北館をつなぐ真ん中にトイレの前にあります通  
路、連絡通路の部分でございます。このT字型の部分について、先ほども答弁させてい  
ただいたようにシートが膨らんでいるという状況でございましたので取りかえをさせてい  
ただいております。材質につきましては、ビニル系の床材として塩化ビニル樹脂にもの  
で張りかえをさせていただいております。シートにつきましては、もとのものをとりまして、  
二層構造でシートを張らせていただいている状況でございます。金額につきましては、税  
込みで162万円でございます。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 答弁の最初の答弁書には、廊下のシートが膨らみ、歩行に支  
障を来したと書いてあるんですが、その廊下の張りかえをされたときに、何で膨らんで  
いたのか、例えば湿気で膨らんでいたのか、そのT字部分が。そういう原因を追及されな  
か

ったんですか。

それからこのT字に張られたところがひどくなっているという、そういうところでどう  
いう原因が考えられるか、どういうふうに思っておられますか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 今、先にお尋ねのその膨らんでいた理由でござい  
ますが、ちょっと申しわけございませんが、そこは把握できておりません。

まず現状としては歩きづらいという状況でありましたので、なるべく早いうちに改善す  
るべきという判断のもと、去年の夏休みに張りかえをさせていただいたところでございま  
す。おっしゃっていただいていますように、その張りかえた後に、その表面に水がたまっ  
ているという言い方が好ましいかどうかわかりませんが、表面に水の状況で確認できると  
いうふうにおっしゃっていただいている、その部分は学校からも報告は受けているので  
すけれども、その理由としまして、今、先日もちょっと町の技術職の職員とも話をさせて  
いただいておりますら結露によるものではないかというふうにお聞きしております。私ち  
よっと申しわけないです、技術屋ではありませんので、その辺ちょっとわかりませんが、  
いずれにしてもこの話をお聞きした後に、数度雨の降っておりますけれども、その時  
点では確認ができておらないのが実情でございまして、今後この現象が生じたら直ちに、  
教育委員会の担当職員が学校に赴きまして、なおかつ業者の方にもお越しいたいで、状  
況を確認していただいた上で手だてをとらせていただきたいと思いますところござい  
ます。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） やはりその張りかえのときに、床下を調べていないというの  
がすごく疑問ですね。防水シートとか、土台がくさっていないとか、そういう配慮が要  
ったのではないかなと思うんですよ。これ早く直さないと、もう子供たち何人も滑って転  
倒しているんです。頭を打たないか先生方は大変心配されているんです。これ雨が降るの  
を待つのではなく、高圧洗浄機で調査をすとか、外壁を赤外線、サーモグラフィーでか  
べの中の雨漏りの状態を調査すとか、そういう早い対応を考えられませんか。この西小  
学校は築何年経過ですか。また木造ですか、コンクリートですか。あと何年もたず計画で  
すか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 今、いろんな方法での確認方法があるのではない

かとおっしゃっていただいた部分につきましては、こちらのほうで、ちょっと方法について早いうちに確認を取らせていただく方法をまず見つけて、その作業に当たらせていただきたいと思います。

それと広陵西小学校は、昭和43年の秋に竣工しております。ですので築46年はたっていると、47年目に入っているということでございます。

構造は木造ではなくて鉄筋コンクリートの構造でございます。それと鉄筋コンクリートの構造物は基本的に大体60年は耐用年数というふうに言われておりますので、広陵西小学校は、大規模改造も1回させていただいておりますし、耐震もさせていただいている関係上、長寿命化といいますか、そういう手だても踏んだ上で、あと10年ぐらいは少なくとも使わせていただけたらと考えているところです。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） この際、根本的な調査をしないと普通じゃないと思うんです、この状態。コンクリートは当初アルカリ性、これが空気中の炭酸ガスを吸収して、年に0.5ミリずつ中性化します。鉄筋のかぶり厚、コンクリートの厚みですね、これは3センチ、つまり60年でコンクリートの中性化が鉄筋にまで到達するということです。コンクリートは中性化しても強度が弱まるわけではなく、空気や水が浸透しやすくなることで劣化します。これが鉄筋にまで到達するとさびを生じさせることで、鉄筋が膨張し、コンクリートの中でさびが発生すれば、コンクリートにひび割れが発生し、耐久性が低下をします。この水漏れによる湿気対策を万全にしておかないと、あと10年もたないかもしれませんね。私は心配なんです。庁舎は大規模な耐震工事に入りますけれども、この西小学校、耐震化は済んでいると言われましたけれども、大きな地震、いつ起こるかわかりません。何かもう来そうな感じがしているんですけれども、耐えられるんでしょうか。この強度の調査、劣化の調査、これが要るんじゃないかと思うんです。雨漏りの調査だけでなく、コンクリートの劣化についての調査・補修、徹底されますか。どうでしょうか。

○議長（青木義勝君） 廣橋事業部長。

○事業部長（廣橋秀郎君） 今、御質問の西小学校の1階の廊下の床の水の浮きということで御質問かと思うんですけれども、当初、西小学校につきましては開放廊下でありました。今、1階部分につきましては、閉鎖廊下になってございます。その部分についての今、水が浮いてくると。それはなぜかという御質問であるかと思うんですけれども、開放廊下はもともと今、コンクリート、土間コンクリートになっていますけれども、その下につきましては、防湿シートというものが湿気が上がってこないように、防湿シートを屋内では敷くんですけれども、その部分、屋外用途ということになっていますので防湿シートが初めか

ら敷かれていない状態ということになっています。その部分で、閉鎖廊下にした。また、塩ビシートを張ってしまったということで、下からの湿気が上部に上がってきたと。そのために塩ビシートが膨れ上がるという症状が出て、今回また張りかえということになってございますけれども、その部分につきまして、ある程度強力な接着剤でとめているわけですので、水が浮くというのは、雨だけではなくて、内外の温度差によりまして、その塩ビシートの上面に水が浮いている状態というので今回の症例が出ているのであろうというふうに考えられています。ただ、雨だけではなくに、天気の良い日、また温度の低い日には、水が浮いてくるとい症状が出てくる可能性がありますので、今後状況を踏まえて、見守っていきたいと思います。そういう状況で水が浮いているということで御理解願いたいと思います。ですから、コンクリート自身の強度が云々ということではないので、申しわけないですけれどもよろしく願います。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 徹底的に調査して、子供たちにけがが起きないようにしていただきたいと、一日も早くしていただきたいと思います。

では、3番目のエアコンのほうに入ります。

坂野議員もこのことで何回か質問されましたけれども、日本共産党議員団は熱中症対策ということで教育委員会に平成22年に申し入れをしておりますし、9月の決算委員会でも私、このことを質問をしております。また毎年行われている住民の方との町との要望の場、自治体キャラバンでもこの小中学校にエアコンを設置してくださいという要望は毎年しています。でもなかなか莫大にお金がかかるという理由で実現しません。来年度の基本設計予算を立てると言われましたが、中学校だけですか。一体幾らかかると思われるんですか。その大体的見積もりはされたんでしょうか。そのエアコン1台幾らぐらいかかって、総額幾らかかるといんでしょうか。わかる範囲で御答弁いただけますか。

○議長（青木義勝君） 答弁。

奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） エアコンの設置の件でございますが、坂野議員のほうからも何回かお尋ねをいただいているところでございます。そのときの答弁としまして、これは昨年の6月の議会での答弁でございますけれども、全ての学校はちょっとまだ把握できておりませんけれども、小学校、教室の数42部屋で、これはガス冷暖房機でございますけれども、1億少しの見積もりをいただいております。もう一つの小学校では49室で1億3,000万円と、こういう形のこれは一部の業者さんの提示でございますので、最終的にこの金額まで達するかどうかわかりませんが、そういう形にかかる

ということになりますと、小中学校7校ございますので単純に各校1億円としましても7億円ぐらいかかるのではないかと、これはあくまでも予測でございますけれども、その辺御理解いただきたいと思います。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 答弁漏れ。基本設計予算は中学校だけか。小学校も全部含めてか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 済みません。基本設計につきましては、基本的に7校全部と考えております。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） すごい金額を示されてびっくりしているんですが、エアコンってこれ77%も割引があるんですよ、これ学校のエアコン。これ119万8,000円が77%割引で27万5,500円、こういうのを計算して、この数字が出ているのかなと思います。それに附帯工事費とかいろいろ取りかえなきゃならない部分も、それはちょっと私よう計算してないんですけれども、本当にこんなにかかるのか、何かすごく疑問なんですよ。この最初の119万8,000円で計算しているんじゃないかなというふうに思うんです。全然違うわけなんですよ。110クラスあって、27万5,500円だったら、もう工事費も合わせて5,000万円ぐらいでできるんじゃないかなと私思ったんですけれども、ちょっと軽く見過ぎかなと思うんですが、この馬力、ダブルツイン型一番高いのでも43万1,000円なんですよ。これだと4,741万円になんですよ。だからその1校で1億円もかかるというのは何か信じられないような金額なんですけれども、国の補助金、文科省の補助金とかどうなんでしょうか。これは使えないんですか、どういう基準ですか。

○議長（青木義勝君） 松井教育長！

○教育長（松井宏之君） 当然学校施設の改修ですので、文科省の補助金はつきます。それにつきましてもやっぱりその補助の申請を上げなければならないということで、その申請にはやはりきちっとした数字を出さなければならないということで、今回説明させてもらった基本設計を先にやらせてもらって、それから補助金の申請をやっていくということ

できっちりした金額をつかみたいということでございます。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 最初の御答弁にもありましたように、これ教育環境向上の観点から必要な事業と考えておりますという御答弁をいただいているんですよ。教室の暑さは36℃にもなるそうなんですよ。学校環境衛生基準、これ夏季25℃から28℃なんですよ。これオーバーしているんです。閉め切った状態の教室に行ったら40℃を超えているんですよ。こんな状態で20人から40人の活発な子供たちがエネルギーにあふれた子供たちが暑い中で授業を受けているんです。大人が45分もそんな中耐えられますか。この議場でもちょっと暑かったら暑いと、寒かったら寒い言うて温度を調整してもらいますけれども、子供たちはそんなことできないんです。我慢するしかないんです。こんな中で授業を受けて、考えて、覚えてテストもこなしているんです。全国の状態を見ると、公立小中学校における普通教室、特別教室の全保有室数は82万1,693室のうち、クーラーが設置されている教室は24万5,937室で、設置率29.9%、これ全国平均です。奈良県は、4,662室のうち、284教室が設置されていて、率はたった6.1%です。東京都何と99.9%、神奈川県71.3%、愛媛県81.0%、京都府では68.1%で高いほうです。東北とか北海道では9.1%から0.5%ですが、涼しい地域ではそうでしょうけれども、この奈良県、湿度も高いし、暑さも相当な暑さです。これからのじめじめした梅雨時は雨が降れば窓もあけられません。また、夏休み明けの運動会の練習も照りつく太陽のもとでの練習が子供たちの体力を奪い、熱中症も心配です。暑い校庭での練習が終わり、各クラスに帰ってきてもっと暑いんですよ。扇風機2台で空気をかきまぜるだけで涼しい風は無理ですよ。中学校から検討するというような御答弁もありましたけれども、小さい子供たちほど抵抗力がなく、エアコンが必要なのではないのでしょうか。全部の教室に要すると思います。必要なものにお金を出しましょうよ。西小の2階、3階のクラスだけでもつけてほしいという要望があるのは御存じでしょうか。もうすぐに見積もりをとって、予算を来年度には設備をする予算をとって来年夏前には取りつける方向で動いてほしいと思うんです。この何人も議員が最初にも言いましたけれども、同じ思いで要望している、多くの町民も要望しているということをぜひ重く受けとめていただいて、この状態をいつまでもほっておかないでほしいと思います。どうでしょうか。

○議長（青木義勝君） 松井教育長！

○教育長（松井宏之君） 答弁でも申し上げましたとおり、当然町のほうでは予算、財政計画というものがございます。特に教育委員会に関しましては、現在の中学校給食センターの建設、それと小学校の給食委託、今後考えられるところでは歴史資料館、それから真

美ヶ丘第二小学校のプールの大規模改修、それから当然10年以内に西小学校の建てかえ、また真美ヶ丘中学校、真美ヶ丘小学校、真美ヶ丘第二小学校についても30年を経過しておりますので、これも大規模改修の年度に入っているということで、かなり教育委員会に関しましては改善しなければならない施設ということで、かなりその辺の検討をしなければならないというところにあって、当然財政的なものがございまして、これはあくまでも何回も言うておりますように町のほうの財政計画に基づいて、計画的に進めていくということで、エアコンに関しましては、その財政計画の中に上げさせてもらっているということで、その辺、財政計画と、それから基本設計をさせてもらって、県のほうの補助金、国の補助金がどういう形でつくかということで進めさせていただきたいと。

それと当然このエアコンに関しましては、短期間の年度のうちでやっぱり7校を全部そろえてあげたいという気持ちもあります。片一方はして、5年待ってくださいというわけにはいきませんので、その辺も含めまして、財政計画、また国の補助金も見据えて実施をやるということで御理解いただきたいと思います。

○議長（青木義勝君） 答弁漏れ。どこですか。

○13番（山田美津代君） 西小の2階、3階の2クラスだけでもつけてほしいという要望。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 西小学校の2階、3階については、1階と比べて暑いという話は、こちらにも認識はしております。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 先ほど申し上げたこのクーラー、安いクーラーをぜひ検討していただいて、予算で過大に見積もり過ぎだと思っておりますので、もう一回検討し直して一日も早くつけるようお願いいたします。

4番目に移ります。就学援助制度。

要保護、準要保護の実態、平成25年は13名と、それぞれ157名ですが、対象者がどれくらいおられるか、そしてどのくらいの方が申し込まれて、うちどれだけの人が援助を受けておられるか。ここ二、三年の数字出ますか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 申しわけございません。今ちょっとその数字は持ち合わせておりません。基本的には、ここ数年は横ばい状態であるというのが実情かと思えます。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） どれだけの方が申し込まれて、どれだけの方がだめだったのかなというふうに思うんですよ、それを聞きたいんですけども。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 昨年度の結果といたしましては、申し込まれた中で不承認となった件数は2件だったと記憶しております。これは同一世帯の方の所得で判断させていただいておりますので、その保護者の方の所得ではなくて、一緒におられるほかの方の所得を含めた段階で基準を超えてしまって、やむなく認定できなかったという状況でございます。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） そういうこともモデルケースで書いておけばわかったんじゃないかなと思うんです。他市の例を前に言いましたよね、モデルケースを書いて、そして申込書の内容を充実させていただきたいと思うんです。この全国平均と比べて、認定率はどのくらいなのでしょう、それはわかりますか。

それからちょっと時間がないので飛ばしますが、平成24年の12月にもこの就学援助制度について、私質問しております。そのときの安田教育長の答弁、「柔道着や剣道着、眼鏡、卒業アルバムなどの範囲をどの範囲で援助させていただくか研究させていただきます」というものでした。研究されたと思うのですが、ホームページに記載されている就学援助の内容ではさっぱりわかりません。どう研究されて、結論はどうなったのでしょうか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 今回、ホームページには、就学援助の内容ということで、制度についての部分と、それから区分ごとにどういう内容のものをどういう形で支給させていただいているかということ初めてでありますけれども、ホームページにアップさせていただいた状況であります。この中で今おっしゃっていただいた具体例で、例えば眼鏡とかいう部分については含まれておりません、確かに。今現時点では、一般的に

基準として出している区分の費用については、広陵町もさせていただいておりますけれども、大きな団体さんが団体独自でされているような内容まで、まだ踏み込んでおれないのが実情であろうかと思えます。

それと広陵町のその率でございますけれども、申しわけないですが、それはちょっと把握できておりませんので、また確認させていただいて御報告申し上げたいと思えます。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 何かこのホームページにアップされている就学援助の内容では、学用品費とか通学用品費というふうに書かれているだけで、どういうのが支給されているのか、そういうこともちょっとわかりにくいので不親切じゃないかなというふうに思います。ぜひ、この柔道着とか剣道着、眼鏡、卒業アルバムなども援助していただくように、もっと研究していただきたいと思えます。このお金をどうしたら出さなくていいかの研究ばかりしていたんかなというふうに思うんですけども、この就学援助の内容で、校外活動費や修学旅行費などは行事の終了後に、これ支給とありますね、この内容に。やっぱり準備するのにお金がかかるんですよ。修学旅行に行くのにかばんを買ったり、くつを買ったり、ジャージも要るし、学校規定のものがなければ買いそろえなくてははいけません。何かあるたびに、その前にお金がかかるんです。新入学前や新入学時に新入学の準備金を出しているところ、先ほど申し上げた福岡市もありますけれども、池田市などの先例を研究すべきじゃないですか。もっと子供の貧困に対してアンテナを張って、できることがないかを考えていただきたい、この制度をもっと充実させて自分たちが該当するかわかりやすく周知を徹底させ、使いやすい制度に変えていくことも重要だと思いますが、どうお考えですか。

○議長（青木義勝君） 奥西教育委員会事務局長！

○教育委員会事務局長（奥西 治君） 今おっしゃっていただいた内容につきましては、早急に研究・検討させていただきたいと思えます。

先ほどおっしゃっていただいた中で、修学旅行費とおっしゃっていただいたんですかね。修学旅行費については、今お持ちの資料にも書いてあると思うんですが、実費額の支給でございますので、事前にではなくて、とにかく要った費用を全額広陵町は負担させていただいておりますので、御理解いただきたいと思います。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） だから旅行後に支給と書いてあるから、前に要るんじゃない

かと言っているんです。まあ、いいですわ。研究をしっかりと、ちゃんとした答弁をくださいね、次に。

時間がないので、5番目に行きます。

軽度生活支援事業を充実させていただきたいと思います。

先ほどの第4次広陵町総合計画「みんな広陵元気プラン」の第2章、高齢者支援の充実に生活支援体制の充実が載っています。高齢者の在宅での自立支援を支援するため、軽度な日常生活の援助を行う軽度生活支援事業や日常生活用具給付等事業、緊急通報装置事業などの福祉サービスの提供を図るとともに、家族介護者の身体的、精神的負担の軽減に向けた支援等を推進しますとありますね、ちゃんとここに載っているわけですよ、広陵町の総合計画に。この充実をうたわれているパンフレットを別につくりますという前向きな御答弁をいただきました。今はこの介護保険の中のここにちょっとだけ載っているだけなんですよね。これを1枚もののパンフにしてほしいと、私何回も申し上げたのが、やっと実現していただけるということで、大変うれしく思っております。こういうパンフを1枚もののにして、そして福祉課の窓口と並べていただく、ということで、周知徹底させていくということが充実することのまず一端ではないかなと思います。国の制度改悪で2年間かけて要支援1・2の方を介護保険から外す計画がされています。町は、2年間かけてするというふうに言っていますが、坂口議員のきのうの質問でもありましたけれども、この方たちを守る支援体制を構築されるのは、地域包括で研究されておられますが、人がいないとどうもなりません。ボランティアの人たちをどう集めるかが課題だと思います。

そこでこの軽度生活支援事業をシルバーさんに委託されているのですから、この部分を充実させて、ただの生活支援だけでなく、体の変化や顔色、心の状態などの確に把握できるように研修体制を整えていかれるということはどうでしょうか。

○議長（青木義勝君） 中山福祉部長！

○福祉部長（中山 昇君） パンフレットにつきましては、早速今作成させていただいておりますので、できるだけ早く時期に置かせていただくようにさせていただきます。

今回、御質問ありました軽度生活援助事業につきましては、今、御質問あったとおり、平成29年4月から新総合支援事業のほうに移行していくという形で、今その準備をさせていただいております。その中で訪問Bですか、そういう地域の方をという形でシルバーの方にも協力いただく一つの事業所としてシルバーのほうにも委託するということはやはり検討はさせていただいております。

また、住民の方のこれから住民団体でのそういうやり方についても、やはりどういうやり方でそれをふやすのかということを検討させていただいております。また、社協も一つの事業所としてその中に入っただけであればということで、また社協とも協議を進めていくことになると思います。

それと介護予防リーダーを今、つくらせていただいて、37名の方が研修を受けていただいて、37名皆、今活動の準備をしていただいております。昨日町長のほうからあったとおり、馬見北2丁目のほうでもサロンの立ち上げに御協力いただいております。そういう方々がまたボランティアの柱になっていただけるようにフォローアップ、一応リーダーの講習は終わったんですけども、その後のそういう活動が続けられるようなフォローアップ講座も計画しておりますので、そういうことでボランティアの育成に努められたらと思っております。

○議長（青木義勝君） 13番、山田さん！

○13番（山田美津代君） 65歳以上の高齢者は、平成21年から、これ第6期の介護保険事業計画から引いたんですけども、5年間でプラス1,703人増加、平成25年度は7,237人で高齢化率20.9%、ことし平成27年度は22.4%です。一般世帯数に占める高齢者の割合は39%、同居世帯の構成比率は減少傾向ですけれども、高齢者1人の世帯、高齢者2人の老々世帯、高齢化率増加しています。そして要介護認定者数は、平成27年から29年の3年間で174人増加しています。要介護の割合は、要介護1と5は横ばいですが、要支援1と2、これ、また要介護2の方、大きくなると見込まれています。訪問介護の利用状況、平成24年度が540人、平成25年度が552人、平成26年度見込みは636人、通所介護は平成24年度が2,460人、平成25年度2,484人、平成26年度は見込み3,000人となっていて、利用される方がふえている状況なんです。これを国は打ち切って市町村に押しつけてきているわけです。こんな状況なのに、もう本当にひどい国だと思います。

この軽度生活支援事業利用状況は、平成24年度3,479時間、平成25年度は3,528時間、平成26年度は3,578時間と、これもふえています。この事業の課題として、先ほど言われた介護予防・日常生活支援総合事業への移行を検討していくとありますけれども、これ、移行されたら、この軽度生活支援事業、これ今、1割負担なんですよね。そういう負担率というのはどういうふうに変わっていくんでしょうか。高齢者にとって、どういうメリットがあるように変えていかれるつもりなんでしょうか。これだけのやっぱり高齢社会になっていく。これだけの御要望がある。その中でどのように高齢者に対してのメリットのある軽度生活支援事業を構築されていかれるのか、お聞かせください。

○議長（青木義勝君） 中山福祉部長！

○福祉部長（中山昇君） 新事業につきましても本人者負担については、1割だったと思います。訪問サービスにつきましても、そういうシルバーとかに引き続き、市町村のほうでその額を決めるということになっており、檀原市と生駒市がやっておられ、檀原市に

聞けば約900円程度でやっていると聞いております。

○議長（青木義勝君） 以上で、山田さんの一般質問は終了いたしました。制限時間でございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上で本日の議事日程は全て終了しましたので、本日はこれにて散会とします。

（P.M. 3：58散会）